

きたがわ 秀和の
お約束



3つの安心

① 安心・安全なまちづくり

- 住民要望のないまちづくりを改めさせます
- 若者・学生の家賃補助、高齢者・低所得者などが安心して住宅確保ができるしくみをつくりま
- 災害に備え、避難所環境を改善するとともに災害弱者の個別避難計画づくりをすすめます
- 交通権を保障し、空白地域へのコミュニティバスの実現、既存バス路線の増便をめざします

② 福祉・くらし・営業の安心

- 生きがい奨励金の復活
- 高すぎる国保料・介護保険料の負担軽減
- 物価高騰に苦しむ低所得者・事業者への支援をすすめます

③ 子育て・教育の安心

- 学校給食費の完全無償化
- 公立保育園31園廃止計画を撤回させます
- 子どもの貧困対策、ヤングケアラー対策をすすめます



きたがわ 秀和さんが
いてくれてよかった

今度も応援します

道路の安全対策を前進させてくれた

環七南通りの綾瀬新橋東側の箇所は「歩道が狭く、道路に段差があって危ない」とずっと思っていました。きたがわさんに相談したら、道路を所管する東京都第六建設事務所に行って実態を伝えてくれました。今では歩道が広くなり、安全に道路を通ることができます。

私たちの声を丁寧に親切に聞いてくれる きたがわさんにこれからも期待しています。

仙谷 美智子（綾瀬7丁目在住）

「図書館をつくって」の地域要望を区政に届けつけてくれる

綾瀬は人口が増えているにもかかわらず、まともに利用できる図書館がありません。「綾瀬に図書館をつくってほしい」と署名を集め、足立区役所へ持って行ったら、きたがわさんが親身に対応してくれ、副区長への要請行動をすることができました。

区は消極的姿勢ですが、議会で「区は図書館をつくる考えがないことを再三協調してきたが、地域からの熱望を受け止めているのか」と追及してくれています。

石井 史衛（綾瀬5丁目在住）

相談に来た人の話をじっくりと聞いてくれる

きたがわさんは駅前で話をした人や、事務所で開催している生活相談に来た人の話をじっくりと聞いてくれる議員です。私の近所の自営業の方も「景気悪化で店をたたみ、生活が苦しくなった」ときたがわさんに相談し、都営住宅に入居することができました。「困っている人がいる」と聞けばどこへでも駆けつける きたがわさんは区議会になくてもならない議員さんです。

内藤 百合子（保塚町在住）

コミュニティバスの増便をいっしょに要望 — 住民の声を大切にしてくれる

「はるかぜ」7号は便数が2時間に1本しかなく、増やしてほしいと思います。きたがわさんは、私たちといっしょになって「『はるかぜ』を増便してほしい」と要望しつけてくれています。

また、「西新井駅東口にエスカレーターを設置してほしい」という声にも丁寧に耳を傾けてくれ、区にも要望を届けてくれました。住民の声を大切にしている きたがわさんを応援しています。

戸口 正夫（島根3丁目在住）



- 大軍拡と防衛増税はストップ
- 消費税5%減税、賃金が上がる日本へ
- CO2排出実質ゼロの足立区、気候危機打開を
- ジェンダー平等の足立区・日本へ



新あだち

2023年3月・4月 号外 新あだち社 足立区日ノ出町27-3-1130 鈴木 秀三郎
日本共産党足立地区委員会の見解を紹介します。

日本共産党

あなたの声にこたえます
区民のために
すぐ動く



足立区議会議員

2期目に
挑戦!

きたがわ 秀和

北川 ひでかず

鈴木 けんいち前区議会議員から大切なバトンを引き継いでからの4年間、区民のみなさん方の声を区政に届けながら、「高すぎる国保料・介護保険料の値下げを」「コロナ禍と物価高騰に苦しんでいる区民・区内事業者への支援を」「震災・水害に備えた災害時要支援者の支援や避難所環境の改善を」など、いのちと暮らしを守り支える施策の拡充を求めて全力を尽くしてきました。

コロナ禍と物価高騰のもとでも不要不急の開発事業には大盤振る舞い、税金を区民のために使わずため込みつづける自民・公明の「冷たい区政」を改め、区民の苦難に寄り添い、いのち・暮らしを守り支えていける「あたたかい区政」の実現めざして、ひきつづき全力でがんばります。

【プロフィール】

●1968年9月、福井県敦賀市生まれ ●働きながら立命館大学二部法学部で学び卒業
●2000年より医療法人財団健和会（足立区）に就職、事務職として18年間勤務 ●医療・介護労働者の生活・労働環境の改善を求める労働運動や社会保障制度の改善めざす地域運動にもたずさわリ、健和会労働組合執行委員長・東京医労連執行委員などを歴任 ●2019年、足立区議会議員に当選 ●現在、区議会議員（1期目）、厚生委員会委員、子ども・子育て支援対策調査特別委員会委員 ●家族は妻



【ホームページ】



STOP! 大軍拡・大增税 消費税5%減税、賃金が上がる日本へ

きたがわ 秀和事務所

【住所】足立区弘道2-7-5

【電話】03-3840-7441 (FAX兼用)

「いのち・くらし最優先」へ区政を動かす

——ためこんだ積立金1807億円の一部を活用するだけで区民を支える施策は実現できます

日本共産党 足立区議会議員 **きたがわ 秀和**

追求「23区で一番高い」介護保険料の負担軽減を

「介護保険料が高い。年金が下りるたびに2万円近く天引きされる」「物価が上がっているのに年金支給が下がっていて苦しい」…どこでも高齢者の方々の苦しい実態に出会います。23区で一番高い介護保険料のこれ以上の値上げをやめさせ、重すぎる保険料負担を軽減しなければなりません。しかし、自民党・公明党はこれまで介護保険料の値上げに賛成しつづけてきました。

きたがわ 秀和は、区議会で何度も質問に立ち、区に対し「介護保険料のこれ以上の値上げは中止を」と求めてきました。ひきつづき介護保険料の負担軽減を求めてがんばります。



生活相談にも応じています

提案 議会に質問と条例提案で学校給食費の無償化を粘り強く求める

小学校で年間約5万円、中学校で年間約6万円にのぼる学校給食費の保護者負担。長引くコロナ禍と物価高騰のもとで多くの家庭に重くのしかかっています。学校給食は、適切な栄養摂取により子どもたちの健康を増進し、健全な食習慣を定着させるための「食育」そのもの。子どもたちのすこやかな成長のためにも、公的支援の拡充が必要です。

給食費無償化を求め、区議団の仲間とともに議会に条例提案も行ってきました。保護者の方々の運動が実り、新年度から「中学校での無償化」が実現しましたが、小学校も含めた完全無償化の実現をひきつづき求めていきます。



実現 コロナ対策で検査の拡充や保健所の強化求め 改善へ

丸3年にわたって新型コロナウイルス感染症が国内で蔓延しつづけるなかで「PCR等の検査を『いつでも・誰でも・何度でも』受けられるようにして感染者を把握し、入院・保護へとつなげるべき」という一貫した姿勢で検査の拡充を繰り返し求め、PCR検査センターの設置や高齢者・障害者施設での定期的PCR検査、学校・保育施設で感染者が出た場合の検査拡充が実現。

また、「感染して保健所に電話しても通じない」という区民の声も届けながら保健所の体制強化も求めつづけ、数十年ぶりに保健師の増員を実現しました。



実現 災害弱者のいのちを守る — 個別避難計画が前進

東日本大震災における障害者手帳を持つ人の死亡率は、全住民の死亡率の2倍にのびます。先進的な自治体の取り組みを紹介しながら、「自力で避難できない人のいのちを守るのは行政の責任」と災害時における障害者・高齢者の避難対策を繰り返し求めるなか、個別避難計画担当職員（専門職含む）が新たに配置され、医療的ケア児など緊急性の高い人たちの個別避難計画策定が大きく前進しました。いのちを守るための取り組みをひきつづき求めていきます。



議会での論戦

地域の要望も届けつづけて

綾瀬に図書館を 綾瀬のまちにお住まいの方々の長年にわたる要望ですが、区は「区内に図書館は充足しているので、新たな図書館をつくる考えはない」と冷たく拒否しつづけています。きたがわ 秀和は、区が実施した住民意向調査でも「図書館が必要」との意見が最も高かったことを明らかにして「地域の根強い要望に応えよ」と繰り返し求めるとともに、図書館建設を求める住民の方々といっしょに、区に対し要望書を直接届けてきました。ひきつづき住民の方々の声を届けながら、図書館の実現に全力をあげます。



地域の方々と要望書を提出

道路の改善や交通安全対策を 環七南通り（都市計画道路補助138号線）の綾瀬新橋東側の約100mの区間は歩道が狭いうえ、朝は自動車だけでなく付近の江北高校に自転車を通う高校生らの通行も多いため、地域の方々からの「危ないから何とかならないか」との声を受け、東京都の第六建設事務所に改善を要望、歩道の拡幅が実現しました。



都市計画道路補助140号線（青井4丁目付近、西綾瀬4丁目付近）や環七通り（島根3丁目付近）に「信号機や横断歩道を設置してほしい」などの交通安全対策を求める地域の要望も警視庁に毎年届け、改善を求めてきました。ひきつづき地域の要望を届けていきます。



警視庁の担当者に要望中